

なりたち 本字は官。家の意味の「（うかんむり）」と、自（土地）垣（がき）の意味との会意字。土垣をめぐらした立派な家、役所による。

▼生物の体の中で一定の働きをする部分。
器官：生物の体を成り立たせる一定の働きをする、各部分。

官営工場の長である高級官吏。國が經營すること。

▼役所。政府。役人。
官庁：役人が國家の事務を行
う所。役所。
官吏：國家の公務を行ふ人。
役人。國家公員の旧称。
官民：政府と民間。官吏と國
民。
用例官民が協力する。



なりたち 貫（貫く）の意味を
仮借（しゃ）した官と、竹の意味
のや（たけかんむり）との会意
形声字。竹の節を貫いた“竹”的意味を表したもの。また、竹
ぶえの意味。また、官の意味
を仮借して“司（つかさどる）”の意味。

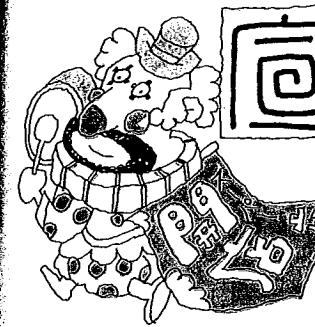
A vertical Japanese character study chart for the character '管' (Kan). The chart includes stroke order, radical analysis, and reading information.

The chart shows the character '管' (Kan) with its radical '宀' (Kuon), stroke order (4 strokes), and readings: 'はねる' (haneru), 'くだ' (kuda), 'おん' (on), and 'カン' (kan).

よみかた	司 <small>つかど</small> る。	分配 <small>はいふく</small> する。
管轄 <small>かんかつ</small> ・管内 <small>かんない</small> ・土管 <small>とかん</small>	管理 <small>かんり</small> ・仕事 <small>しごと</small> ・組織 <small>しきしゆ</small> ・建物 <small>たてもの</small> ・物 <small>ぶつ</small>	品 <small>ひん</small> などを責任 <small>せきにん</small> をもつてめんどうを見るこど。

▼ 管笛。
管樂器：吹き口から息を吹き込むと、管の中の空気が振動して音が出る樂器。フルートや笛など。
管弦樂：管樂器と弦樂器。また、それらによる合奏。オーケストラ。例 管弦樂團。

▼管。
血管：体中をめぐる血液が通つて行く管。
毛細血管：吸する空気が通つて行く管。
例：気管支炎。
試験管：化学の実験などに使う底のあるガラスの管。



なりたち 垣の本字の亘(んせ)と、家の意味のへ(うかんむり)との会意形声字で、垣をめぐらした天子の宮殿(みやぢん)という意味の字。ここで詔を下すので、詔(ひら)広く告げ知らせる・公に(おおやけ)する”的意味に用いられる。

卷之三

宣寬



卷之三